

No.25 生涯活躍のまちづくり事業 （企画政策課）

令和2年度にめざした姿(目的)

地域の課題を解決するための人材を誘致し、移住者だけでなく地元住民にとっても暮らしやすいまちづくりを進めます。

令和2年度にめざした成果

町内の空き家を地域資源ととらえ、移住者向けの居住場所として活用し、地域の課題を解決する人材の誘致につなげます。

令和2年度にめざした活動(主な取り組み)

地域の空き家を活用し、移住者受入を行います。

令和2年度の成果

- ・令和2年度は昨年度実績4件を上回る9件の空き家の開拓と改修をすることができたため、新たな移住者受入件数の増加につながりました。
- ・移住した方が地域の空き家に居住し、自治会活動や地域活性化に寄与する事例もできています。

令和2年度の問題

移住者を呼び込むために必要な住まいが不足しています。原因としては借上げ可能な空き家が少ないことがあげられます。

令和3年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ・なんぶ里山デザイン機構や地域振興協議会などの関係機関との連携を強化し、空き家情報等の情報収集を強化します。

(2) 解決すべき問題への方策

- ・新たな空き家を確保できるよう、空き家の利活用についての広報や所有者のニーズ把握が必要です。

(3) 新たに取り組む方策

- ・空き家活用に関する新たなビジネスモデルと、所有者・入居希望者の多様なニーズに対応できる活用策について検討します。